

愛媛 F C

初心者のための

選手名鑑 2019



愛媛 FC の選手ってどんな人？

初めての愛媛 FC 観戦！でもどんな選手がいるのか全然分からない…。初めての観戦は知らないことが多くて少し不安ですよね。この初心者ガイドでは、そんな方に向けて、愛媛 FC に所属する選手たちの性格やプレーの特徴、ピッチ外での意外な一面などを紹介しています。最初は誰も知らなくても大丈夫。気になる選手がいたら、このガイドと照らし合わせて確認してみましょう！（※紹介文は作者の独断・偏見を多分に含みます。ご了承ください。）

選手紹介の見方

1

背番号
※監督は“M”マーク

似顔絵

GK

キーパーマーク
※ゴールキーパーのみ

名前 () は読みがな

岡本 昌弘(おかもと まさひろ)

紹介文
※注釈は P11 にて解説

1. 生年月日
2. 出身地
3. 身長 / 体重
4. 前所属チーム
5. 1 市町 1 選手応援事業担当
※詳しくは P11 * 19 を参照

DAZN ベストセーブランキング常連の不動の守護神。豊富な経験に裏打ちされた安定感抜群のセーブが持ち味。視野が広く、敵のシュートコースを消すことを得意とする。昨年は PK^{*1} を 2 度も止めており、対戦相手のサポーターから「キーパーが強すぎる」と不満が漏れることも。試合中の涼々しい姿とは裏腹に、ガールズフェスタの告知ではノリノリで女装姿を披露するなど、茶目っ気もたっぷり。あだ名である“ぐっぴー”の由来は不明。

1. 1983/05/17 2. 千葉県 3. 188cm/80kg 4. ジェフユナイテッド千葉 5. 西予市

1

GK

岡本 昌弘(おかもと まさひろ)

DAZN 週間ベスト 5 セーブランキング常連の不動の守護神。豊富な経験に裏打ちされた安定感抜群のセーブが持ち味。視野が広く、敵のシュートコースを消すことを得意とする。昨年は PK^{*1} を 2 度も止めており、対戦相手のサポーターから「キーパーが強すぎる」と不満が漏れることも。試合中の涼々しい姿とは裏腹に、昨年のガールズフェスタの告知ではノリノリで女装姿を披露するなど、茶目っ気もたっぷり。あだ名である“ぐっぴー”の由来は不明。

1. 1983/05/17 2. 千葉県 3. 188cm/80kg 4. ジェフユナイテッド千葉 5. 西予市

2

山崎 浩介(やまざき こうすけ)

がっしりした体格と癒し系スマイルのギャップが魅力的な大卒 2 年目のディフェンダー^{*2}。身体能力が高く、大きな体でどんな敵をも跳ね返すため、競り合いでは負け知らず。ルーキーだった昨年と比べてプレーの安定感が増し、今季はブレイクするための準備もばっちり。実はその逞しすぎる体格がゆえに、チームから支給されたスーツのサイズが合わず、1 人だけユニクロのスラックスを着用しているとか。好きなスイーツはガトーショコラ。

1. 1995/12/30 2. 埼玉県 3. 182cm/80kg 4. 明治大学 5. 東温市



玉林 睦実 (たまばやし むつみ)

南宇和高校出身の県人選手。玉林睦実＝ストイックの代名詞と言えるほど、兎にも角にも努力と向上心の人。選手としてのキャリアはアマチュアからのスタートだったが、チームをJリーグ昇格に導くことで、自らプロへの道を切り開いた。出場機会に恵まれない時も腐らず黙々と居残り練習に励む姿は、後輩たちの良いお手本となっている。今年で35歳になるベテランだが、天然で親しみやすいせいか、年下の選手にもしゅちゅういじられている。

1. 1984/10/12 2. 愛媛県宇和島市 3. 178cm/73kg 4. 松本山雅 FC 5. 宇和島市



西岡 大輝 (にしおか だいき)

愛媛FC1のいじられ＆愛されキャラ。ミスをしてもくよくよせず、すぐに持ち直す強靱なメンタルと、超が付くほどポジティブな性格が売り。対人守備や攻撃の組み立て*3でチームに貢献する。今季、6歳下の弟が所属するFC琉球がJ2に昇格したことで念願の兄弟対決が実現するも、アウェイでの試合は完敗。11月のホーム戦では兄の威厳を見せ、勝利をもたらしてくれることに期待したい。ちなみに特技はあっち向いてホイ。異常なまでに強い。

1. 1988/08/21 2. 宮崎県 3. 180cm/77kg 4. 栃木 SC 5. 大洲市



前野 貴徳 (まえの たかのり)

愛媛FCユース*4出身。一見クールな表情の裏に、熱い心と地元への強い愛を秘めた、みんなのリーダー的存在。口ではなく背中では語るタイプで、どんな時も手を抜かず懸命に戦う姿勢をプレーで示す。ゲームキャプテン*5を任せられることが多く、揉め事の仲裁に入るなどピッチ内のトラブル処理もお手のもの。最近では地元で恩返しをしたい、と、母校の岡田小・中学校（松前町）を訪問し、生徒と交流を深めることも。座右の銘は“Every wall is a door”。

1. 1988/04/14 2. 愛媛県松山市 3. 172cm/64kg 4. アルビレックス新潟 5. 松前町、松野町



野澤 英之 (のざわ ひでゆき)

キュートなほにかみ笑顔で女性サポを翻弄する王子様系男子。ボール捌きが上手なテクニシャンで、周囲をよく見て状況を判断することができる。昨季序盤は出番がなかったものの、決して人のせいにすることなく自分自身と真剣に向き合い、壁を乗り越えようとするメンタリティを評価されてスタメン*6の座を勝ち取ると、攻守の要として大きな成長を遂げた。仲良しの神谷選手とのコンビは“すかし隊”と呼ばれ、サポーターからの人気も高い。

1. 1994/08/15 2. 埼玉県 3. 180cm/71kg 4. FC岐阜 5. 八幡浜市

7



近藤 貴司 (こんどう たかし)

大卒から愛媛 FC 一筋 5 年目、持ち前の俊敏性で敵を置き去りにするスピードスター。加入当初と比べてプレーはもちろん、精神面も逞しく成長し、自身よりもチームのことを考えて一層献身的に動けるようになった。今や攻撃の主軸で、替えの効かない存在である。愛妻家で、得点すると左手の薬指にキスをし、奥様にゴールを捧げている。結婚記念日に行われた試合では今季初ゴールを決め、両手でハートマークを作るパフォーマンスも披露した。

1. 1992/04/26 2. 東京都 3. 167cm/63kg 4. 早稲田大学 5. 伊予市、上島町

8



長沼 洋一 (ながぬま よういち)

今季より加入した U-22 日本代表*7。これまで複数の異なるポジションを担当してきた経験から、チームや戦術に合わせてどんな役割でも器用にこなすことができる。愛媛 FC では右サイドをメインとして、時に守備、時に攻撃と忙しく走り回り、チャンスと見るや否や果敢に攻め上がる姿は、ひととき存在感を放っている。また、同じ U-22 代表の神谷選手とは中学時代からの知り合いだそうで、試合中も阿吽の呼吸でパスをつなぐ。2 人の連携にも注目。

1. 1997/04/14 2. 山梨県 3. 177cm/66kg 4. FC 岐阜 5. 伊方町

9



有田 光希 (ありた こうき)

些細な接触では当たり負けしない屈強な体と、思い切りの良いダイナミックなプレーでゴールをこじ開ける生粋の点取り屋。苦しい時にこそ真価を発揮するタイプで、昨年は絶対に負けられない四国ダービー*8でチームが劣勢の中、値千金の決勝点を挙げた。愛媛の土地に愛着を持ち、自らの故郷のように大事にしてくれる選手なので好感度も抜群。試合中はゴールへの執念を見せるが、家庭では守りの意識を強く持っているらしい。

1. 1991/09/23 2. 新潟県 3. 180cm/80kg 4. 京都サンガ F.C. 5. 砥部町

10



神谷 優太 (かみや ゆうた)

エースナンバー “10” を背負う若き天才。長沼選手と同じく、東京五輪で戦う U-22 日本代表候補のひとり。攻撃センスに長け、キレのあるドリブル、決定機を演出するパス、ダイナミックなシュートと、どのプレーをとってもクオリティの高さに驚かされる。責任感が強く、自身がチームを引っ張っていかなくてはという覚悟が随所に滲み出るところが愛されポイント。タウン情報まつやま (雑誌) にて “神谷くんで行く” という連載を持ち、カフェやスイーツなどを紹介している。

1. 1997/04/24 2. 山形県 3. 176cm/67kg 4. 湘南ベルマーレ 5. 松山市、鬼北町

11



神田 夢実 (かんだ ゆめみ)

高い技術でボールを自在に操ることができ、特にミドルシュート^{*9}やフリーキック^{*10}を得意とする選手。みんなの弟キャラで人懐っこい性格ゆえか、年上のベテラン選手に可愛がられることが多い。また、仲良くなるのは選手に限らず、昨年まで愛媛 FC に所属していた小池純輝選手（現・東京ヴェルディ所属）の愛娘カンナちゃんや、近藤選手の愛犬ナナちゃんをも手懐けている。サッカー選手だが、好きな漫画は“スラムダンク”（バスケット漫画）。

1. 1994/09/14 2. 北海道 3. 170cm/63kg 4. 北海道コンサドーレ札幌 5. 大洲市

13



岩井 柊弥 (いわい しゅうや)

今季愛媛 FC ユースからトップチーム^{*11}への昇格を果たした生え抜き。西条市出身。昨季も2種登録^{*12}選手としてリーグ戦や天皇杯に出場しており、アウェイ甲府戦では勝利に貢献。試合後のラインダンスでも一番前で音頭を取って盛り上げた。以前はほぼ毎試合サポーターとして観戦に来ていた彼が背負う番号は、愛媛 FC のレジェンドナンバーとされ、長らく欠番となっていた“13”。子供たちの憧れの選手となれるよう、背番号に恥じぬプレーを誓う。

1. 2000/10/11 2. 愛媛県西条市 3. 172cm/66kg 4. 愛媛 FC U-18 5. 西条市、四国中央市

14



吉田 真紀人 (よしだ まきと)

昨年は怪我で出遅れたが、満を持して戦場復帰したゴールハンター。高いボールキープ力と優れた得点感覚を持つ。今季第10節のアビスパ戦で愛媛 FC 移籍後初ゴールを決めると、その得点感覚はますます研ぎ澄まされてきた。やや人見知りな印象を受けるが、慣れ親しむとお茶目な一面が垣間見えるタイプで、過去在籍したチームのサポーターからも愛され続ける人気者。苗字の“吉田”よりも“真紀人”で呼んでほしいとのこと。

1. 1992/10/20 2. 千葉県 3. 181cm/76kg 4. ジェフユナイテッド千葉 5. 新居浜市

15



丹羽 詩温 (にわ しおん)

初出場でいきなり初ゴールを決めたり、取った点の多くが決勝点になったりと、どこか“持っている”選手。試合開始わずか28秒で得点するなど、印象的なゴールも多い。昨年は慣れないポジションに転向して苦労したが、プレーの幅を広げ、愛媛 FC 3年目、勝負の年に挑んでいる。西日本豪雨災害が発生した際には、“愛媛県を勇気付けられる愛媛 FC でいられるように頑張ります”と宣言し、被災者や被災地域に寄り添ってくれた。

1. 1994/06/18 2. アメリカ合衆国 3. 178cm/75kg 4. 明治大学 5. 内子町

16



田中 裕人 (たなか ひろと)

ピッチ上の影の主役といえばこの人。自身がボールを持って目立つよりも味方につなげてチャンスを作るため、ひたすら敵の攻撃の芽を摘み、前線へとパスを供給し続ける。派手な役割ではないが、いるといないのとではチームの勢いも段違い。縁の下の力持ちとしてチームを支えている。昨年はミドルシュートを枠外にとばしがちなところが課題だったが、徐々に精度も上がってきた。今年こそゴールに結びつくはずなので、見逃さないように注意したい。

1. 1990/04/26 2. 大阪府 3. 177cm/69kg 4. V・ファールン長崎 5. 内子町

17



小暮 大器 (こぐれ だいき)

前線への推進力に優れ、左右両方のサイドからチャンスを生み出すことができるドリブラー*¹³。抜きん出たスピードで敵を圧倒し、スタミナを生かしたタフなプレーでチームに貢献する。昨シーズン終了後に開催された“イチワリマラソン” (4.2915km) ではチーム内トップでゴールしており、走力はトップクラス。シャイでプライベートをあまり語らないため、私生活は謎に包まれているが、田中選手と相思相愛であることは確か。

1. 1994/05/17 2. 茨城県 3. 174cm/68kg 4. セレッソ大阪 5. 八幡浜市

18



西田 剛 (にしだ ごう)

常に明るく前向きな、頼れる我らがキャプテン。最前線で泥臭くゴールを狙い、自ら懸命に戦う姿を見せてチームを牽引する。愛媛 FC 在籍 6 年目にして 4 度目のキャプテン就任であり、指名した川井監督曰く、本能で“剛がいいな”と思ったとのこと。ピッチ外では、FM 愛媛の“GOGO 西田剛!” (毎週金曜 PM9:30-10:00 放送) というラジオ番組でパーソナリティを務めており、チームのこと、選手のこと、イベント情報などを精力的に発信している。

1. 1986/09/14 2. 鹿児島県 3. 178cm/74kg 4. アビスパ福岡 5. 久万高原町

19



藤本 佳希 (ふじもと よしき)

済美高校出身の松山産ストライカー*¹⁴。丹羽選手、山崎選手と同じ明治大学を卒業後、フアジャーノ岡山でプロとしてのキャリアをスタートした。岡山ではなかなか出場機会に恵まれずいたが、昨夏地元である愛媛に帰ってくると、眠っていたストライカーとしての本能が覚醒。ゴールを量産し、今季もチームに欠かせない存在として活躍している。ピッチ上の力強いプレーとは対照的な、無邪気で可愛らしい笑顔がチャームポイント。

1. 1994/02/03 2. 愛媛県松山市 3. 178cm/78kg 4. ファジャーノ岡山 5. 松山市、西条市



河原 和寿 (かわはら かずひさ)

今季で愛媛 FC 在籍 7 年目に突入したチーム最古参。過去 6 年間で 3 度、年間 2 桁ゴール達成という記録を持つ。誰よりも愛媛を愛し、誰よりも愛媛に貢献することを望む選手であり、その思いの強さがサポーターに愛される所以。昨年 11 月には第 1 子が誕生し、今季第 8 節の岐阜戦では我が子を抱いてピッチへ入場するという夢を叶えた。今の夢は、父親がサッカー選手であることを子供に理解してもらえるまで長く現役を続けることだそう。

1. 1987/01/29 2. 埼玉県 3. 173cm/67kg 4. 栃木 SC
5. 東温市



原 裕太郎 (はら ゆうたろう)

穏やかな性格でみんなを優しく見守る選手会長。シュートストップやボールを扱う技術など、キーパーに必要な能力をバランス良く兼ね備えている。試合に出ていないメンバーが底上げできれば全体の力も上がる、とチームの雰囲気作りに貢献したり、小さなことの積み重ねを大事にして集客につなげたい、と話したりするなど、周囲のことを考えられる選手でもある。合言葉の“顔晴(がんばん)ろう”には、顔が晴れる＝笑顔になる、という意味も込められている。

1. 1990/04/23 2. 島根県 3. 187cm/82kg 4. ロアッソ熊本
5. 松前町、松野町



林 堂真 (りんどう まこと)

空中での競り合いを得意とし、冷静な状況判断・対応ができる守備の要。昨季は J2 通算 200 試合出場も達成しており、その 8 割近くが愛媛 FC での出場記録となっている。今季は怪我で出遅れたが、まだまだ若手にポジションを譲る気はない。クールで面倒見の良いみんなの兄貴的存在でもあり、後輩たちからの信頼も厚い。口数が多いタイプではないが、集客のために特典付き招待企画を実施したいと率先して申し出るなど、行動の節々に秘めた愛媛愛が滲み出る。

1. 1989/11/21 2. 大阪府 3. 178cm/74kg 4. ガイナーレ鳥取
5. 四国中央市



茂木 力也 (もてぎ りきや)

今夏、浦和レッズより移籍してきた新戦力。守備的ポジションであればどこでも対応できる柔軟さを持つ。2016 年にも在籍しており、愛媛 FC への加入は 2 度目。当時はまだプロ 2 年目、19 歳という若さであったが、多くの試合に出場し、カバーリング*¹⁵能力の高さを見せつけた。2 年半の歳月を経て、ますます成長した姿をニスタで見せてくれることに期待。温厚な性格で、練習中もファンサービスをしている時も、いつもニコニコと柔らかい笑顔を浮かべている。

1. 1996/09/27 2. 埼玉県 3. 174cm/68kg 4. 浦和レッズ
5. 途中加入のためなし



竹嶋 裕二 (たけしま ゆうじ)

愛媛の地でプロデビューし、主力定着へ向けて日々成長を続ける 20 歳。端正な顔立ちからは想像できない熱い闘志を持ち、スタメンの座を虎視眈々と狙う。ボール奪取能力に優れ、攻守両面でハードに戦えるのが特長。また、ロングスロー*¹⁶も武器としており、得点につなげた実績も。昨年のサンクスパーティー*¹⁷では、参加した子供たちと積極的に交流を深め、密かにファンからの好感度を上げた。また、ノリの良さにも定評があり、全力で場を盛り上げる。

1. 1999/06/11 2. 千葉県 3. 173cm/71kg 4. ジェフユナイテッド千葉 U-18 5. 今治市、伊方町



渡邊 創太 (わたなべ そうた)

今治市出身の高卒ルーキー。岩井選手とともに愛媛 FC ユースからトップチームへ加入。ユースではキャプテンとしてチームを牽引し、高校生世代の最高峰リーグであるプレミア*¹⁸昇格へ導いた。昇格が確定した直後のインタビューではキャプテンらしい落ち着いた受け答えを見せたが、同じ高卒組の岩井選手や中川選手曰く、意外と“抜けている”らしい。守備能力の高さ、豊富な運動量でハードワークできるところがストロングポイント。

1. 2000/08/25 2. 愛媛県今治市 3. 179cm/72kg 4. 愛媛 FC U-18 5. 今治市、西予市



中川 裕仁 (なかがわ ひろと)

過去に愛媛 FC に在籍した元選手が監督として指揮を執り、プロ選手を多数輩出している大阪の興國高校より加入。新チーム始動後初のトレーニングマッチでいきなり得点を決めるなど、気合い十分の最年少フォワード。1 市町 1 選手応援事業*¹⁹では、有田選手とともに砥部町の担当となり、砥部焼観光大使にも就任。オフに個人的に砥部町へ観光に行き、製陶所で砥部焼の勉強をするなど、愛媛の文化を積極的に吸収しようとする律儀で熱心な好青年。

1. 2000/05/25 2. 和歌山県 3. 169cm/64kg 4. 興國高校 5. 砥部町



清川 流石 (きよかわ さすが)

愛媛 FC ユースからびわこ成蹊スポーツ大学を経て地元へ戻ってきた大卒ルーキー。ユース時代は前線で得点を量産するプレースタイルだったが、現在はサイドが主戦場。強化部長が太鼓判を押す快足と、大学で身に付けた守備能力を武器に、一皮剥けたプレーで飛躍を誓う。チーム内イケメンランキング上位にランクインするほど甘いマスクの持ち主でもあり、タウン情報まつやまの表紙を飾るなど、ビジュアル面でも注目を集めている。

1. 1996/07/20 2. 愛媛県松山市 3. 176cm/70kg 4. びわこ成蹊スポーツ大学 5. 松山市、久万高原町

29



川村 拓夢 (かわむら たくむ)

サンフレッチェ広島から海を渡ってやってきた若き新戦力。ボールを捌くテクニックに優れ、正確な左足のキックに自信を持つ。シャイな性格で、“人前で話すことは苦手”だと話すも、キックオフフェスタ^{*20}の新加入選手紹介の際、照れた様子で今シーズンの意気込みを語る初々しい姿に、多くの女性サポーターが心を射抜かれた。ファンサービスが神対応だとの声も上がるが、本人は特に何も意識していないとのこと。プライベートでは竹嶋選手とよく映画に行く。

1. 1999/08/28 2. 広島県 3. 185cm/75kg 4. サンフレッチェ広島 5. 上島町

30



禹 相皓 (うさんほ)

鍛え上げられた強靱な肉体を武器に、攻守両面で奮闘するボランチ^{*21}。試合終盤、敵も味方も疲れが出始める時間帯に途中交代で投入されることが多く、積極的なパスカットや的確なパスでチームに活力を与える。普段はいじられキャラで、特に有田選手から無茶振りをされがち。加入当初、サポーターから名前を間違えられて“サ・ウンホ選手”と声をかけられた経験があり、一時期チームメイトからもその呼び名でいじられていたが、正しくは“ウ・サンホ選手”である。

1. 1992/12/07 2. 北海道 3. 174cm/74kg 4. FC 岐阜 5. 愛南町

31



パク ソンス

チーム1の長身を誇る守護神。愛媛FCに加入して2年はベンチ入りすらままならなかったが、努力を重ねて3年目に第1ゴールキーパーの座を勝ち取ると、試合を経るごとに自信を付け、着実に成長を遂げた。4年目の昨年からは岡本選手という厚い壁が立ちほだかっているが、5年目の今季は身近で岡本選手の良いところを吸収しつつ、ポジションの奪還を狙う。地道にコツコツ頑張る姿を見て、思わず応援したくなる選手。技術の向上とともに日本語もかなり上達した。

1. 1996/05/12 2. 大韓民国 3. 192cm/77kg 4. FC 河南 (大韓民国) 5. 松山市、鬼北町

33



山瀬 功治 (やませ こうじ)

愛媛FC初のA代表^{*22}経験者。長年のプロ生活の経験をフルに活用し、自身に求められる役割を高いレベルでこなす頼もしき満点のベテラン選手。今年でプロ20年目、38歳となるが、プレーは衰えることを知らず、その凄さは20年連続得点やJリーグ通算500試合出場達成などの偉大な記録からも読み取れる。奥様である理恵子さんは、アスリートご飯（通称:アス飯）の研究者として知られており、食事面の管理も万全である。

1. 1981/09/22 2. 北海道 3. 175cm/73kg 4. アビスパ福岡 5. 途中加入のためなし

39



下川 陽太 (しもかわ ようた)

開幕前に宣言した“走って走りまわります”という言葉どおり、無尽蔵のスタミナで休まずピッチを駆け抜ける左サイドのファイター。疲れ知らずでパワフルに戦い続けるため、“怪物”と呼ばれることも。スタミナだけでなく、スピードや左右どちらの足でも器用にボールを扱うことができる点も長所。根っからの関西人で、ノリの良さやトークの上手さ、ユーモアセンスには定評がある。SNS では子煩悩なパパとしての一面も垣間見られる。

1. 1995/09/07 2. 大阪府 3. 178cm/70kg 4. 松本山雅FC 5. 伊予市

50

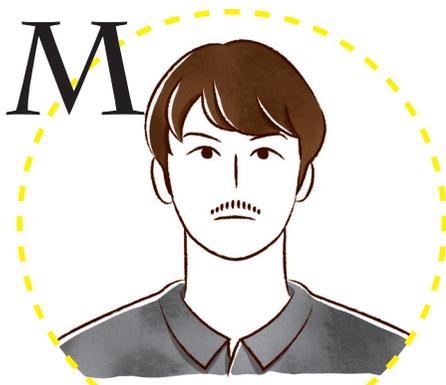


ムラデン ユトリッチ

J2初のオーストリア人プレーヤー。愛称はリマ。日本代表の南野拓実選手が所属するザルツブルク（オーストリア）の下部組織で育ち、その後はオーストリアのリーグでプレー。初めての国外移籍で愛媛FCにやってきた。大柄な体格で、激しい競り合いでの守備に強みを持つ。12、3歳の頃はフォワード*²³としてプレーしていたこともあり、全員参加のシュート練習ではディフェンダーながらフォワード顔負けの技術でゴールを量産している。

1. 1996/04/19 2. オーストリア 3. 184cm/85kg 4. カプフェンベルガー SV 5. 途中加入のためなし

M



川井 健太 (かわい けんた)

昨シーズン途中より就任したJリーグ最年少監督。“ボールを大切にサッカー”をテーマに掲げ、目指すスタイルを明確に指し示すことで、降格の危機にあったチームの軌道を修正、残留へ導いた。試合中の采配はもちろん、マネジメント能力にも長け、選手の個性を伸ばすことを得意とする。キックオフフェスタで行われたイケメン投票では、選手を差し置いてダントツの1位に輝くほど容姿談麗。スーツで指揮を執る姿は大人の魅力満載。

1. 1981/06/07 2. 愛媛県宇和島市 3. — 4. — 5. 宇和島市

用語解説

- * 1 PK … ペナルティキックの略。ゴールのすぐ前（約 11m）で、ゴールキーパーと 1 対 1 の状況でボールを蹴ることができるシュートチャンス。得点につながる可能性が高い。
- * 2 ディフェンダー … 守備を主な役割とするポジション。
- * 3 攻撃の組み立て … サッカーではビルドアップとも呼ばれる。ボールを受けてからパスをつなぎ、シュートに至るまでの過程は無限にあると言われ、選手たちはどの方法がベストか考えながら次の一手を選択していく。これを繰り返し、方向性を定めながらフィニッシュまで持っていく一連の流れや動きを攻撃の組み立てといい、西岡選手はその起点となるプレーを得意とする。
- * 4 ユース … 未来のプロ選手を育成するための下部組織。主に 18 歳以下の高校生世代の選手が所属する。
- * 5 ゲームキャプテン … 試合中にチームをまとめる役割を担う。腕につけたキャプテンマークが目印。
- * 6 スタメン … スターティングメンバーの略。試合開始時にピッチに立つ 11 人を指す。
- * 7 U-22 日本代表 … 2020 年東京五輪を見据えた 22 歳以下の日本代表。五輪の代表選手は年齢制限があり、原則 23 歳以下（五輪開催前年の 12 月 31 日時点）の選手で構成される。
- * 8 四国ダービー … 徳島ヴォルティスとの試合を指す。ライバル関係にある愛媛と徳島がお互いの意地とプライドをかけて臨む、負けるわけにはいかない対戦。
- * 9 ミドルシュート … ゴールから一定の距離がある位置から打つシュート。至近距離からのシュートよりも難易度が高い分、得点につながると観衆も沸く。
- * 10 フリーキック … ファウルがあった際にそのファウルを受けた場所からボールを蹴り、プレーを再開すること。再開場所がゴール付近の場合、得点の可能性が高くなる。
- * 11 トップチーム … プロとして Jリーグ公式戦に出場するチームのこと。ここで紹介する選手たちで構成されているチームが愛媛 FC のトップチームである。
- * 12 2 種登録 … ユース（第 2 種チーム）に在籍する選手がトップチームの公式戦にも出場できるよう申請し、Jリーグ側の許可が下りれば 2 種登録となる。若くして優秀な選手が才能を買われて登録される場合が多い。
- * 13 ドリブラー … ボールを蹴りながら前進する“ドリブル”が得意な選手をこう呼ぶ。
- * 14 ストライカー … 攻撃力があり、得点をよく決める選手のこと。
- * 15 カバーリング … 味方の守備をフォローし、急所となる空きスペースを作らないようにすること。
- * 16 ロングスロー … ボールがピッチの外に出た際、手でボールを投げて試合を再開する“スローイン”のうち、特に遠方へ投げるものを指す。
- * 17 サンクスパーティー … シーズンシート（年間パス）購入者対象のパーティー。選手や監督、コーチたちと交流を深めることができ、貴重な選手の一発芸なども見られる場としてファン・サポーターから人気のイベント。
- * 18 プレミア（リーグ） … 高校生世代の最高峰に位置するリーグ。18 歳以下の選手の技術向上を目的に、全国各地のクラブユースや強豪校が東西に分かれて戦う。
- * 19 1 市町 1 選手応援事業 … 県下 20 市町それぞれに担当の選手を設け、地域とクラブの交流を深めていくことを目的として始まった応援企画。市町は選手を応援し、選手は応援してくれる市町の PR を行ったり、イベントに出席したりするなどして、地域の活性化、愛媛 FC への関心度の向上を目指す。
- * 20 キックオフフェスタ … 毎年リーグ戦が開幕する前に行われるイベント。新加入選手や新ユニフォームの紹介、キャプテン、副キャプテンの発表などが行われる。
- * 21 ボランチ … 布陣の中央に位置し、敵の攻撃の芽を摘んだり、味方の攻撃の起点となったりするなど、攻守両面において重要な役割を担うポジション。試合の展開はこのボランチのプレーによってかなり左右される。
- * 22 A 代表 … 年齢制限のない日本代表のこと。フル代表とも呼ばれる。
- * 23 フォワード … 攻撃を主な役割とするポジション。

愛媛 FC 試合日程

-  8月 4日 (日) 19:00 vs ファジアーノ岡山 @ ニンジニアスタジアム
8月 10日 (土) 18:00 vs ジェフユナイテッド千葉 @ フクダ電子アリーナ
8月 17日 (土) 19:00 vs 鹿児島ユナイテッド FC @ 白波スタジアム
 8月 25日 (日) 19:00 vs 大宮アルディージャ @ ニンジニアスタジアム
8月 31日 (土) 19:00 vs アビスパ福岡 @ レベルファイブスタジアム
-  9月 8日 (日) 19:00 vs 徳島ヴォルティス @ ニンジニアスタジアム
9月 14日 (土) 19:00 vs レノファ山口 FC @ 維新みらいふスタジアム
9月 22日 (日) 16:00 vs 柏レイソル @ 三協フロンテア柏スタジアム
 9月 28日 (土) 19:00 vs 栃木 SC @ ニンジニアスタジアム
- 10月 6日 (日) 14:00 vs 京都サンガ F.C. @ たけびしスタジアム京都
 10月 13日 (日) 15:00 vs アルビレックス新潟 @ ニンジニアスタジアム
10月 20日 (日) 14:00 vs FC 岐阜 @ 岐阜メモリアルセンター長良川競技場
10月 27日 (日) 13:00 vs モンテディオ山形 @ ND ソフトスタジアム山形
-  11月 3日 (祝) 15:00 vs FC 町田ゼルビア @ ニンジニアスタジアム
11月 10日 (日) 14:00 vs 水戸ホーリーホック @ ケーズデンキスタジアム
 11月 16日 (土) 14:00 vs FC 琉球 @ ニンジニアスタジアム
11月 24日 (日) 14:00 vs 横浜 FC @ ニッパツ三ツ沢球技場

※  =ホームゲーム (ニンジニアスタジアムで開催)